

疑問だらけ!?!の 「新町西再開発」

日本共産党

徳島市議団ニュース

新町西再開発
特別号

第2号【発行】2011年10月

連絡先●徳島市役所南館 日本共産党議員団室 〒770-8571 徳島市幸町2-5 TEL088-621-5107

なぜ今2億円の
ビル購入なの!?



9月議会に新町川沿いの『生命保険会社のビル・土地』を購入する約2億円の予算案が出されました。日本共産党以外の賛成で購入が決まっています。

『生命保険会社のビル・土地』を買うことによって、徳島市が新町西再開発の「準備組合」に加入し、市民合意のない「再開発の音芸ホール」の事業が一気に推進されることとなります。



市民負担の
危険がいつぱいの「再開発」



駅前「そごう・アミコ」の再開発ビルの「2の舞」

駅前の「そごう・アミコ」ビルをみればよくわかります。事業に「ほころび」が出ると、市民の税金を投入して、ホテルだった所に徳島市が図書館を入れていきます。もし、他の店が撤退したらどうなるのでしょうか!?!他都市では、再開発に加わった市が、その再開発に「ドンドン税金を投入して大問題になっています。」徳島市は例外「などあるのでしょうか?」

「音芸ホール」が中心の新町西再開発の完成予想図

今年9月に「新しい計画案」が出されました。この案は、再開発区域のほとんどを「音芸ホール」が占めています。



駐車場のない
「新町西の音芸ホール」

新町西の場合、小ホール300名と大ホール1500名の観客は「どこに車を止めて音芸ホールへ行けばいいのでしょうか?」

市は民間駐車場や、わずかしかなる市の地下駐車場を利用して、また、できるだけ公共交通（市バス・川の駅など）を利用してと言っています。一方、旧動物園跡地の場合、駐車場建設が可能です。

駐車場のない「新町西の音芸ホール」でいいのでしょうか。

中心市街地の活性化にならない「音芸ホール」

新町西再開発の事業目的は、中心市街地の活性化です。

ところが「音芸ホール」は図書館など他の公の施設とは違い、中心市街地の活性化にならない「ことが明らかになっています。」

全国の再開発の中で、音芸ホール

で中心市街地が活性化している例はどこをみてもありません。それもそのはずです。観客が入る本番日数は4割にも満たないのです。しかも、「音芸ホール」の観客「イコール」買い物客にはならないのではないのでしょうか。

市民が使いやすい「音芸ホール」の建設を求めます。

「市民合意」の音芸ホールが建設されるはずの「旧動物園跡地」



突然消えた「旧動物園跡地の音芸ホール」の計画

2005年12月1日（本会議の朝）突然、「音芸ホールは新町西に整備する」という記事が徳島新聞の1面トップに掲載され、議会で原市長が「音芸ホールは再開発と一体で推進する」と表明。議会や市民に大きな衝撃が走りました。

音芸ホールは「旧動物園跡地に建設する」ことを前提に、市がつくった市民会議が14年もかけて検討し「最終報告書」（5つの案）を原市長に提出していました。

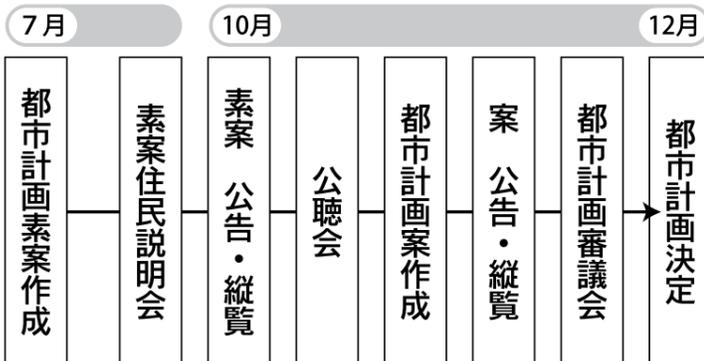
それなのに市長が、新町西に音芸ホールをつくる構想を突然打ち出しました。これは市民をないがしろにするやり方です。

なぜ大事な中身を市民に知らせないでなぜ急いで決めるの!?

市の新町西再開発事業のスケジュール案

新町西地区市街地再開発事業

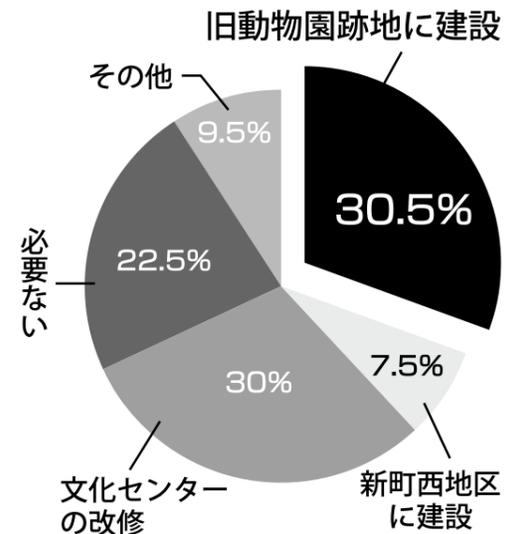
平成23年度



年末までに「都市計画決定」で、「音芸ホールは新町西」と決めてしまうスケジュールです。もっと市民に説明し意見を聞いて！

ホールのバリアフリー、エレベーターなど具体的な中身や、床単価が高いのか？ などなど肝心な点について市民にも議会にも説明しないで「年内に都市計画決定」（西新町に建てることを決めてしまっ）しようとしています。これで市民のためのベストな買い物ができるでしょうか？ 市民の声をもっと聞いてからにしてほしいものです。

四国放送『おはようこくしま』（2008年6月）のアンケート結果です。



「音芸ホールの建設場所についての世論はどうなってしまうのか?」